

11

自動車塗装工程排気

塗装臭・シンナー臭

コンサル
テーションバブリング
テストマイクロゲル
スプレー

S-VE

消臭剤マイクロゲルユーザーで最も多いのが有機溶剤臭対策です。また、そのうちの多くは塗装工程排気であり、メインは自動車産業となります。本工場では、工場に隣接する地域にマンションが建設され、入居が始まると同時に悪臭苦情が発生。数年間は活性炭や他メーカーのマスキング消臭剤を使用していたが、いっこうに改善されず、行政指導により、弊社のコンサルテーションの実施となりました。

→Answer

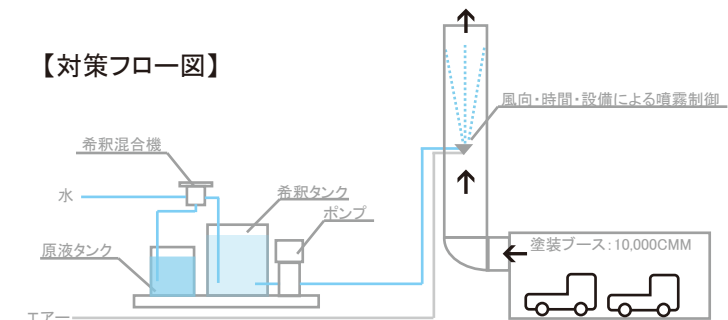
コンサルテーションの結果、蓄熱式燃焼脱臭装置及び活性炭脱臭装置等を併用した抜本的な消臭対策が必要との見解となりました。小風量の高濃度排気には蓄熱式燃焼脱臭装置が設置されましたが、問題は排気風量が10,000m³/minを超えるブース内排気対策でした。こちらには消臭剤マイクロゲルを用いた対策が導入され、さらにコスト削減のため、風向・時間・設備による噴霧制御システムを導入。このシステムで年間コストを1/5程度に抑えながら消臭剤が使用されております。

>>結果

ダクト内消臭剤マイクロゲルスプレーシステム
使用消臭剤: マイクロゲルS-VE

採取場所	自動塗装ブース1	自動塗装ブース2	ハンド塗装ブース	電着塗装ブース	焼き付け乾燥炉
対策前臭気濃度	2000	1600	2500	1600	1600
対策後臭気濃度	400	320	500	320	400
脱臭効率	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	75.0%

【対策フロー図】



コンサルテーション 臭気採取



スプレーテスト



マイクロゲルスプレーユニット



スプレー噴霧